

# TOKYO LOCATION BOX **PRESS**

VOL. 37

2025

映画・ドラマと都内各地域の情報紙

LOCATION\_01

新宿区・中野区

歌舞伎町・西新宿・弥生町

支援

東京ロケーションボックス

映画

『愚か者の身分』  
全国公開中

©2025映画『愚か者の身分』製作委員会

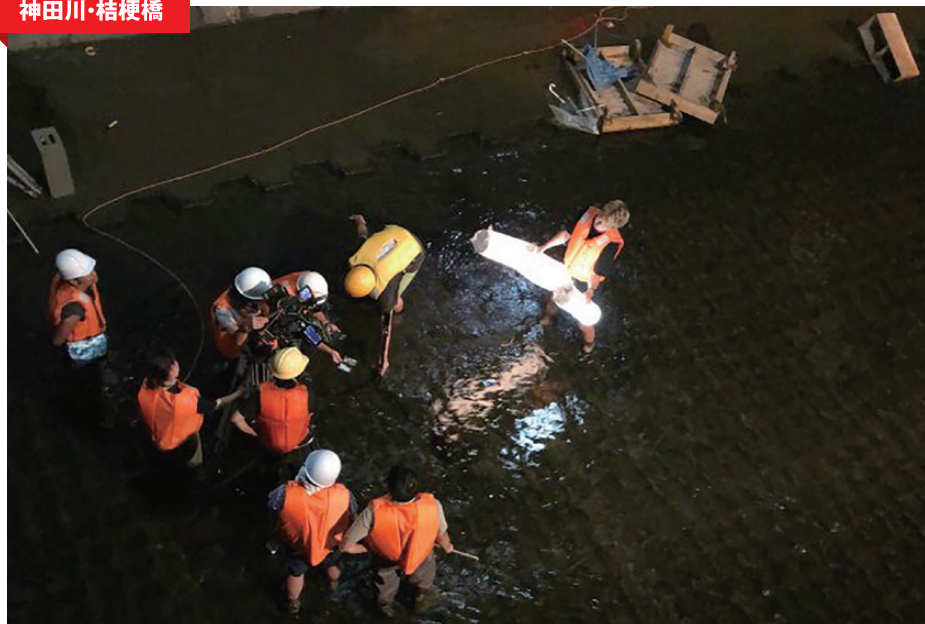


3人の若者たちが闇ビジネスから抜け出そうとする3日間を、それぞれの視点から描く。SNSで女性を装い、身寄りのない男性から巧みに個人情報を引き出し、戸籍売買を行うタクヤ（北村匠海）とマモル（林裕太）。劣悪な環境で育った彼らは、気が付けば闇バイト組織の手先になっていた。タクヤは、彼を闇ビジネスの世界に誘った兄貴分的存在の梶谷（綾野剛）の手を借り、マモルと共にこの世界から抜け出そうとするが――。

出演：北村匠海、林裕太、山下美月、矢本悠馬、木南晴夏、綾野剛  
原作：西尾潤『愚か者の身分』（徳間文庫） 脚本：向井康介  
音楽：出羽良彰 監督：永田琴

東京フィルムコミッション「東京ロケーションボックス」は、映画・テレビドラマ等の円滑な制作をサポートする組織です。

神田川・桔梗橋



西新宿



## 真夏の猛暑と豪雨による予定変更を乗り越え、西新宿と神田川でのロケを敢行

この作品は、夏の暑い最中にロケが敢行されました。うだるような夏の太陽が降り注ぐ、2025年7月26日の西新宿では、思わず倒れてしまいそうなほどの暑さの中、日陰がない状態で撮影が続行されましたが、特に調子の悪くなる者もおらず無事に撮影は終了しました。

2025年8月8日は神田川の桔梗橋で撮影が行われました。本来なら前日の予定でしたが、ゲリラ豪雨で神田川の水かさがあっという間に上がり、茶色の濁流となってしまう、日程変更を余儀なくされました。ところが、翌8日は夏の太陽がこれでもかというくらいに降り注ぎ、補給しても補給しても体内の水分が無くなってしまいうようでした。許可を得て神田川に入った制作担当たちは汗だくになりながらイント

レを組み、撮影の準備を始めます。何度もテイクを繰り返してやっと日を跨ぐ少し前に撮影が終了し、ロケ隊は現場を後にしました。とにかく異常な暑さとの闘いのロケ撮影でした。

歓楽街の裏に巣くう「闇ビジネス」の世界を描きながら、この作品では新宿・歌舞伎町の煌びやかさや妖しさが、とても優しく、温かささえ感じるものに見えました。キャストとスタッフが一丸となって、作品の世界観を丁寧に積み上げていきました。

加えて、先日開催された第30回釜山国際映画祭では新設のコンペティション部門最優秀俳優賞を、北村匠海さん、綾野剛さん、林裕太さんの3名が揃って受賞する快挙を成し遂げました。

西武新宿PePe前



東京フィルムコミッション  
「東京ロケーションボックス」

住所

〒163-0915  
東京都新宿区西新宿二丁目3番1号 新宿モノリス15階（公財）東京観光財団

電話

03-5579-8464

FAX

03-5579-8785

メール

ml-tlb@tcvb.or.jp

窓口開設時間

平日9:00～17:45  
※土日祝日・年末年始（12月29日～1月3日）は休業日です。

詳しくは  
ココから  
アクセス！



## 神津島の雄大な自然の中、**雨も墓も** “つくる” 覚悟で挑んだロケ撮影

### LOCATION\_02 神津島

前浜海岸・返浜・ありま展望台<sup>ほか</sup>

支援

こうづしまフィルムコミッション

映画

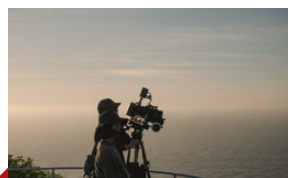
『旅と日々』  
全国公開中

©2025『旅と日々』製作委員会



夏の海。海岸で夏男(高田万作)は陰のある女・渚(河合優実)に出会う。翌日、再び会った二人は台風が近づく中、海で泳ぐのだった…。その二人の映像が、大学の講義室のスクリーンに映し出されている。李(シム・ウンギョン)が脚本を書いた映画が、授業の一環で上映されていたのだ。やがて季節は冬になり…。第78回ロカルノ国際映画祭グランプリ受賞。

出演:シム・ウンギョン、堤真一、河合優実、高田万作、佐野史郎、斉藤陽一郎、松浦慎一郎、足立智充、梅舟惟永 監督・脚本:三宅唱  
原作:つげ義春「海辺の情景」「ほんやらのペンさん」 音楽:Hi'Spec



ありま展望台



名組湾

都心から南へ約180km、伊豆諸島の神津島で撮影が行われました。島の静けさや雄大な自然が作品世界に深みを与えています。その裏側には、島の自然条件を活かしながら撮影に挑んだ制作チームの多くの苦労がありました。

特に大変だったのが、返浜<sup>かやすはま</sup>で撮影された“雨のシーン”。ロケ期間中は晴天が続き、必要な雨が降らず、スタッフと島民エキストラで協力し、海水を発電機で汲み上げ、消防用ホースを使って人工的な“雨”を降らせることに。リアルな雨脚や質感を出すため、角度や水量を調整しながら、数日間かけて雨を降らせ続けました。海辺での大規模な“手作りの豪雨”は、スタッフにとっても初めての挑戦でした。さらに、島の高台には本物さながらの墓石セットを設置したところ、島民に新しいお墓と勘違いされ話題になる一幕もありました。

こうした努力と島民の温かい協力のもと、島の自然と物語が響き合う独特の世界観が築かれていきました。神津島という舞台が、作品にどれほど大きな力を与えているか——スクリーンを通して感じていただけるはずです。

## TOKYO LOCATION BOX PRESS



福祉支援センターたかはた



日野市役所

日野市内の生活が広がる各所で、夫婦のごく普通の日常を映し出す本作の撮影が行われました。

駐輪場で自転車が倒れるシーンの撮影の際は、傷つけても大丈夫な自転車を20台以上確保する必要があり、市内自転車店の協力を得て廃棄予定の物をなんとか確保しました。

踏切では、京王電鉄運行管理の社員の方による立ち会いのもと、踏切の電車通過時間、開き時間が知らされ、タイミングを見ながら慎重に撮影を行いました。現場では安全確認を徹底しつつ、周囲の状況にも気を配りながら進められました。

郵便局の設定で使用された「福祉支援センターたかはた」では、サチ(岸井ゆきのさん)が急いで自転車に乗って、締切間近のタモツ(宮沢氷魚さん)の願書を出しに行くシーンの撮影が行われました。市の職員の方々には業務終了後の車両移動など、多くのご協力をいただきました。

## 多くの支えに導かれ、**日野市の街に** **寄り添うようにロケが進む**

### LOCATION\_03 日野市

日野市役所・福祉支援センターたかはた・市民の森ふれあいホール<sup>ほか</sup>市内各所

支援

日野映像支援隊

映画

『佐藤さんと佐藤さん』  
全国公開中

©2025『佐藤さんと佐藤さん』製作委員会



「佐藤」という同じ苗字を持つ男女が交際・結婚・出産を経て歩む15年間の軌跡をつづったドラマ。岸井ゆきのと宮沢氷魚が夫婦役を演じ、『ミセス・ノイズィ』の天野千尋監督が、夫婦をテーマに人と人との関係を丁寧かつリアルに描く。第38回東京国際映画祭公式出品作品。

出演:岸井ゆきの、宮沢氷魚、藤原さくら、三浦獠太、田島令子、ベンガル<sup>®</sup>。脚本:熊井まどか、天野千尋 主題歌:優河「あわい」監督:天野千尋



## 映画・テレビ等 ロケ地募集

東京ロケーションボックスでは、映画やテレビ等の制作に協力していただけるロケ地を募集しています。



### ロケ地登録のメリットとは？

#### 企業PRとして活用！

映画やドラマに施設名・企業名が入ることで、宣伝効果が期待できます。

#### 収益事業として活用！

施設使用料、立会い費用等を設定することで、収益につながります。

#### 地域のにぎわい創出に貢献！

街のにぎわい創出や地域の活性化へつながることが期待できます。

#### 映像文化の発展に貢献！

作品づくりを支援することは、映像文化や映像産業の振興にもつながります。

### 公式SNSにて支援作品や 新規ロケ地情報を随時発信！

東京ロケーションボックスでは公式SNSを開設しております。支援作品情報、新規ロケ地情報などを随時発信しています。皆様のフォローお待ちしております！



【公式Facebook】



【公式YouTube】